



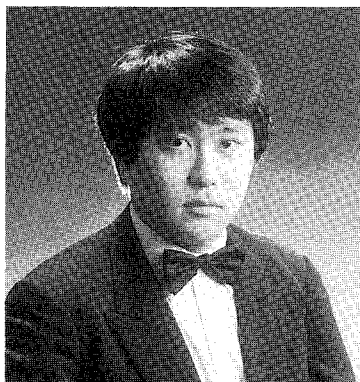
鎌倉交響楽団

第63回定期演奏会

1994年5月15日(日) 2:00p.m.

鎌倉芸術館

# プロフィール



## ◀宮松重紀(指揮者)

1963年横浜生まれ。横浜国立大学卒業後、東京芸術大学指揮科に入学し、91年首席で卒業。同年芸大卒業生紹介演奏会に出演。

指揮を遠藤雅古、大野和士、ピアノを江崎光世、作曲を安藤久義の各氏に師事。

88年より新早日本交響楽団、広島交響楽団、N響団友オーケストラ、新ヴィヴァルディ合奏団等を度々指揮する。また二期会や日生劇場等において山田一雄、若杉弘、外山雄三、秋山和慶、手塚幸紀の各氏の元でアシスタントを務める。

89年イタリア・シエナ・キジアーナ音楽院に於いてロジェストヴェンスキー氏に師事。ブルガリアのルッセ交響楽団を指揮し、絶賛を博す。

オペラでは、「フィガロの結婚」「ドン・ジョバンニ」「コシ・ファン・トゥッテ」「ヘンゼルとグレーテル」等を指揮し、高い評価を得る。

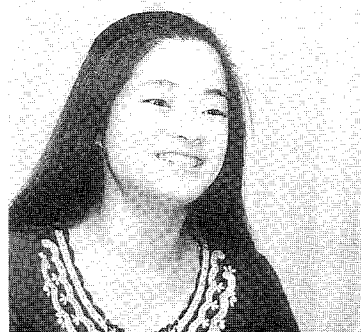
現在、愛知県立芸術大学非常勤講師。

## ▶天満敦子(バイオリン独奏)

東京芸術大学付属高校を経て、東京芸術大学を卒業。同大学院修了。第43回日本音楽コンクール・バイオリン部門第1位、チリ・サンチャゴ市国際バイオリン・コンクール大賞(第1位)、ロン＝ティボー国際コンクール特別銀賞受賞。国内では、各地でのリサイタル、室内楽、N響等主要オーケストラとの共演など、幅広い演奏活動を行なう。1984年からは、毎年ヨーロッパへ演奏旅行を行なっており、ドイツ、オーストリア、フランス、ベルギー、フィンランド、ソ連、チェコスロバキア、ハンガリー等で、オーケストラとの共演、FM放送を含む数多くの演奏会を催し、成功を取めている。

全日本学生音楽コンクールの審査員も務めており、TV・FM放送への出演も多い。故井上武雄、故兎東龍夫、海野義雄、故レオニード・コーガン、ヘルマン・クレッパース各氏に師事。

使用楽器はアントニオ・ストラディバリウス(1735年製)。「現代日本のバイオリン音楽抄」のCDは、平成5年度文化庁芸術作品賞を受賞した。



# 鎌倉交響楽団第63回定期演奏会

指揮／宮 松 重 紀

バイオリン独奏／天 満 敦 子

ニコライ 歌劇「ウインザーの陽気な女房たち」序曲

シベリウス バイオリン協奏曲ニ短調

I Allegro moderato

II Adagio di molto

III Allegro, ma non tanto

————— <休 憩> —————

チャイコフスキー 交響曲第5番ホ短調

I Andante

II Andante cantabile, con alcuna licenza

III Valse : Allegro moderato

IV Finale : Andante maestoso

〔後 援〕 鎌倉市教育委員会

# 本日の演奏曲目のご紹介

## 歌劇「ウィンザーの陽気な女房達」序曲 ニコライ (1810～1849)

作曲者のオットー・ニコライは19世紀前半に活躍したドイツの作曲家兼指揮者です。ベルリンで音楽教育を受け、まずイタリアでオペラの上演等を行った後、1841年から1847年までウィーンの内廷劇場の首席指揮者を務め、この間に現在のウィーン・フィルの前身であるフィルハーモニッシュェ・コンツェルテを創立させました。この事はオーケストラが王侯貴族の所有物から一般市民の物へと、又その編成がサロン風から劇場用の大編成の現代オーケストラに変貌する糸口となりました。この歌劇はシェイクスピアの原作による台本にニコライが作曲したもので、筋書きも曲も大変面白く今日でもよく上演されます。序曲はウィンザーの夜明けを表す静かな序奏にはじまり2拍子の軽快なリズムに乗ってこの劇にふさわしい明るく楽しい音楽が展開されます。曲はこの2拍子のリズムと共に次第に高揚し力強く終わります。

## バイオリン協奏曲 二短調 Op.47 シベリウス (1865～1957)

このバイオリン協奏曲はシベリウスが作曲した唯一の協奏曲であり、近代に作られた協奏曲中最高の傑作と評されています。この曲は有名な「交響曲第2番」の翌年1903年に完成ヘルシンキで初演をしたのですが、その後楽譜の改訂を行い、決定版による初演は1905年10月ベルリンでカルル・ハールのバイオリン、リヒャルト・シュトラウスの指揮で行われました。シベリウスは交響曲や交響詩の作曲家として有名ですが、彼自身優れたバイオリン奏者でもありヘルシンキの音楽院では作曲とバイオリンの教授を務めていました。彼の最も円熟した時期に得意な楽器に対して書かれたこの協奏曲は独奏バイオリンの技巧的な面と伴奏オーケストラの交響乐的な面とが見事に調和した素晴らしい曲になっています。

**第1楽章：**冒頭オーケストラのバイオリンが小刻みに奏するさざなみを思わせる音形に乗って、独奏バイオリンがいきなり語りかけてきます。この語りかけは独奏バイオリンとオーケストラが綾をなし、さながら北欧伝承を思わせる雄大な音の世界を形造ってゆきます。 **第2楽章：**この楽章は激しい情念を心に秘めながら淡々と唱される詩であり聴くほどに味わいの深い楽章です。 **第3楽章：**ティンパニーと低音の弦により奏される力のこもった3拍子のリズムの上に独奏バイオリンにより提示されたテーマが様々な形に展開され終楽章にふさわしく力強い盛り上がりを見せて曲を終わります。

## 交響曲 第5番 ホ短調 Op.64 チャイコフスキー (1840～1893)

チャイコフスキーはモスクワ音楽院の和声学教授であった1876年にメック夫人から経済援助を受ける事になり、以後作曲活動に専念するために翌1877年モスクワ音楽院を辞し、この年に第4交響曲を完成させました。しかし同じ年結婚に失敗し落ち込んだ時期もありました。このためかあるいは充電のためか次の交響曲「マンフレッド」が作曲された1885年まで交響曲は作曲されていません。本日演奏される第5交響曲は、この「マンフレッド」に次ぐ交響曲作品で1888年の夏一気に書き上げられました。初演は同年11月ペテルブルグで作曲者自身の指揮で行われ聴衆は熱狂したとのことです。

**第1楽章：**初めにクラリネットによって循環主題が奏されます。この主題は全ての楽章に形を変えて現れます。続いて8分の6拍子になりファゴットに先導されるホ短調の主題とバイオリンで奏されるニ長調の優美な主題とによってこの楽章を形造ってゆきます。 **第2楽章：**ホルンのソロで提示されるテーマを中心に展開される緩徐楽章。 **第3楽章：**洗練されたワルツ。 **第4楽章：**序奏部で循環主題がホ長調で弦の全奏で演奏されます。早い2拍子の部分の後、序奏の主題が更に大編成で力強く奏されます。

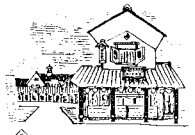
(山田尚慶)

# ◆団員出演者名簿

常任指揮者 古谷 誠一 指揮者 宮松 重紀 技術顧問 吉水 洋・藤原 義章  
 団 長 日比谷 平一郎 運営委員長 松野 義明 インспекター 西谷 裕之  
 コンサート・マスター 松野 美智子 五味 俊哉

Violin	有田 静 有光 健 石橋 智子 ○井上 康男 宇多 綾子 遠藤 勝智 小沢 礼子 小原 治子 川西 清美 喜多 埜昇次 桐本 圭三 黒田 理恵子 樽松 幹恵 ○五味 俊哉 嶋屋 香苗 菅井 直介 鈴木 晶子 曾根 民子 高橋 けい子 富岡 陽子 永井 八郎 中村 順子 中橋 美木子 西村 靖之助 芳賀 節子 馬場 潔子 広木 孝嗣 府川 紀子 藤岡 裕子	Viola	藤田 成子 前中 聡 ○松野 美智子 安田 亜矢子 山崎 さゆり 山本 秋義 内海 俊郎 梶 成彦 清水 正義 田中 順子 長島 庸子 中村 恵 西谷 直子 日比谷 平一郎 三門 サカエ ○水 上 清 宮下 重美 谷口 史朗 八幡 和彦 ○飯田 達男 上田 和男 大庭 伸仁 佐藤 理加 鈴木 晋一 鈴木 達広 田中 幸一 中井 良樹 西田 和史 藤尾 由紀	Bass	松野 義明 和田 有紀子 ○梅沢 定彦 江口 利哉 大内 達郎 小川 美織 北川 洋 中村 安孝 畠山 鉄太郎 福島 晋哉 矢野 健 菊竹 秀夫 曾根 美樹 高橋 弘子 ○吉田 龍夫 青野 晃子 内山 匡 ○古賀 久貴 小林 隆志 中橋 英純 山本 賢二 伊澤 力 内田 千枝子 ○片山 真知子 金子 光延 川崎 あゆみ 射場 俊郎 志馬 康紀 ○西谷 裕之	Horn	松木 祐子 青山 裕美子 伊東 明子 白井 賢司 江口 美麻樹 佐藤 仁樹 藤尾 正明 藤岡 浩之 ○山崎 和之彦 山田 克彦 山田 尚慶 清水 里美 ○高橋 善彦 武田 幸太郎 津金 勝技 本多 豊太 有賀 功 ○府川 創 藤本 功 煤孫 さえ子 ○今城 信彦 寿田 桃子 高橋 正彦 保田 稔美 蓑田 俊之	Trumpet	○パートリーダー	Trombone	Tuba	Percussion
--------	--	-------	---	------	---	------	---	---------	----------	----------	------	------------

鎌倉の駅を通過して  
道すがら  
若宮大路の左角  
『酒まん処』ここに有り  
表紙・第 1 次 餃 頭



松風堂本座

鎌倉市小町1-5-24  
☎ 0467-22-0666



珈琲・洋菓子

**T77**

小町通り (22) 2689  
(22) 8963

## 第64回定期演奏会

●ベルリオーズ  
幻想交響曲 ほか  
○指揮 古谷 誠一  
○94年11月13日(日)  
○鎌倉芸術館

## 第17回室内楽演奏会

○94年7月10日(日)  
○鎌倉市中央公民館

## 団員募集中!

0467-25-3512 田中方へ

イベント  
雑貨店

株サイガード

横浜市中区万代町3-5-15  
(文化体育館裏通り)

《祭事用品専門処》

- ぬいぐるみリース ●アドバルーン
- 名入風船 ●のぼり ●提灯 ●はんでん
- 三角くじ ●記章 ●えんにち用品

われたら  
パンダ!

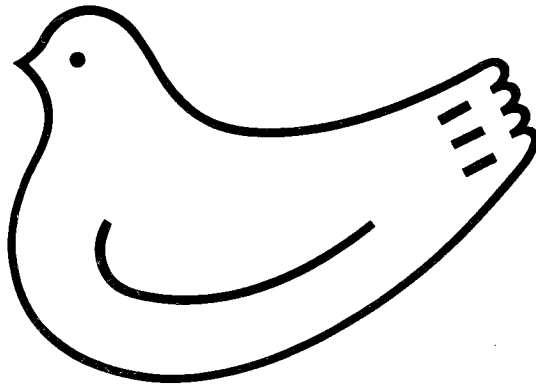


☎045-681-1121(代表)

FAX 662-7779

鳩サブレー  
豊島屋

鎌倉・八幡宮前通り  
電話0467(25)0610(代表)



佳き町  
鎌倉  
鳩サブレー。

通勤・通学服もおしゃれ着もすべて1日でOK!!

ドライクリーニングのクイックサービス

午前中にお出し下されば夕方迄に仕上ります

ファッション クリーニング

スピード・クイック

●AM9:00~PM7:00(日曜定休)  
逗子本店(71)3293  
逗子駅前店(73)8114  
逗子ハイランド店(72)1131

鎌倉由比ヶ浜店(22)1501  
鎌倉大町店(25)3722  
鎌倉深沢店(32)2751  
藤沢店(22)5595

茅ヶ崎十間坂店(85)9209  
茅ヶ崎共恵店(85)7310  
茅ヶ崎矢畑店(86)6607  
茅ヶ崎茶屋町店(87)2168

フランス料理



# 小町園

横須賀線下馬ガード脇  
TEL. (22) 2 3 7 0

# JURI et MODE

鎌倉市御成町11-2  
(やのやビルB1)  
TEL.(0467)22-4105  
茅ヶ崎市中海岸1-1-58  
(大勝ビル1F)  
TEL.(0467)87-1145



# 鎌倉壺番屋

鎌倉小町通りにて候 ☎0467-25-6638  
AM 9 ~ PM 7

カフェ & レストラン



# Saloon The Lime

SINCE 1980 KAMAKURA

鎌倉駅西ロヤノヤビル2F

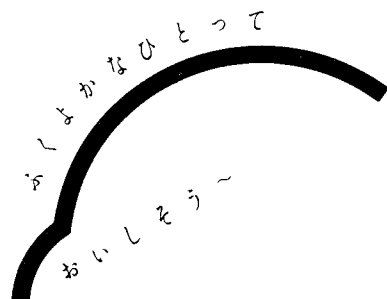
TEL. 25-1421



(新)遠近両用  
累進多焦点レンズ  
各社取扱い

●コンタクト用  
(ソフト・ハードケース)取扱  
(クリーナー・保存液)

optical・shop  
KAMAKURA  
森川眼鏡店  
☎(22)2964



市役所通りのパン屋さん  
リトルマーメイド  
TEL. 25-5025

健保・労災取扱

# 大船 整骨院

佐藤元一

大船駅前 協和銀行隣

サトウビル

☎0467(45)6700(代)

# 輸入楽譜のエキスパート

速い、安い、親切、全国にすぐ郵送します。  
在庫表ご請求下さい。

TEL 0467-24-8766  
FAX 0467-22-9755

カマクラムジカ

〒248 鎌倉市浄明寺5-11-29

# クラリネット

レッスンしてみませんか?  
(フリータイム制)



横浜市戸塚区戸塚町3755-1-1-307  
川下方 TEL 045-865-4885  
片山クラリネット教室

耳鼻咽喉科、アレルギー科、神経耳科(めまい診療)

# 芋川耳鼻咽喉科クリニック

鎌倉・小町壺番館ビル3階

電話 (24)7273

夏色の季節のなかへ



SHONAN

湘南しんきん